

** 2017 年 6 月 改訂（第 5 版）（新記載要領に基づく改訂）
* 2008 年 4 月 改訂（第 4 版）

承認番号 : 15800BZZ00332000

機械器具 74 医薬品注入器
管理医療機器 自然落下式・ポンプ接続兼用輸液セット 70371000

輸液セット

再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

<本品の基本構成>



びん針 点滴筒 クランプ コネクター

- 本品はポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。
- 品種により構成部品が異なる場合がある。

【使用目的又は効果】

本品は輸液を輸注するための滅菌済み輸液セットである。

【使用方法等】

- 本品は手技に精通した医師の管理下で使用する。
- 下記の説明は、一般的な使用方法である。

1. 輸液セットのクランプを完全に閉める。
2. 正立させた薬液容器に、びん針のカバーを外し、ゴム栓にまっすぐ根元まで刺し、薬液びんをハンガーにかける。
3. 点滴筒を軽く指で押し離すと薬液が点滴筒に入る。これを繰り返して空気混入防止のため、点滴筒の半分まで溜める。
4. エアー針を薬液容器のゴム栓にまっすぐ根元まで刺す。
5. クランプを開いて輸液セットの先端まで薬液を満たし、チューブ内の空気を完全に除いてからクランプを閉める。
6. チューブを輸液ポンプのチューブ装着部にセットする。
7. 輸液セット先端を静脈針等に確実に接続する。
8. クランプを全開し、点滴筒での薬液の滴下がないことを確認してから輸液ポンプの電源を入れ、必要な操作を行い、輸液ポンプを作動させる。
9. 輸液を終了するときは、クランプを完全に閉じて輸液ポンプから取り外す。

<点滴量>

個包装の表示を確認し、調整操作を行うこと。

※薬剤によって、一滴あたりの容積が異なる場合があるので、自然滴下・滴下制御型ポンプ等で輸液を行う場合は注意すること。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意すること。
- 使用中は接続部分に緩み、液漏れ等がないことを定期的に確認し使用すること。
- 本品先端のコネクターに適当な静脈針等を確実に接続してから使用すること。
- 静脈針、翼付静注針等および輸液ポンプを使用する場合は、使用するそれぞれの添付文書及び取扱説明書に従って使用すること。
- 輸液ポンプと長時間（24 時間以上）併用して輸液を行う場合、チューブの変形が起こり、流量が変化するので 24 時間前にチューブ装着位置を 20 cm 程度移動するか、新しい製品と交換すること。
- びん針、エアー針等の針部には直接手を触れないこと。
- プラスチック型びん針の場合、ゴム栓に対し斜めに刺通したり刺通中に横方向の力を加えないこと。[びん針が変形、又は破損する可能性がある。]
- 油性の薬剤、アルコールを含む薬剤、脂肪乳剤等を使用する場合は注意すること。[コネクター部分にひび割れが生じて薬液が漏れる可能性がある。]
- チューブが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないこと。
- 脂溶性の医薬品等では、可塑剤であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出するおそれがあるので注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

* [使用期限]

包装（ラベル）に使用期限を表示している。[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

フォルテグロウメディカル株式会社
電話番号 0283-22-2801